

情報リテラシー | ガイダンス

2016年4月14日

担当: 花田, 平塚, 篠原, 鈴木, 浅沼, 小岩, 朴, 木村,
大見, 渡辺, 樋口, 中原, 今井, 吉澤, 小早川, 須賀

© mizutani@rsch.tuis.ac.jp susaki@rsch.tuis.ac.jp ohmi@rsch.tuis.ac.jp

情報リテラシー教育の目標

- Windows利用
 - 情報の蓄積と管理
 - ファイルとディレクトリの概念の理解
- ネットワーク
 - ネットワークマナー
 - セキュリティ意識
 - ネットワークの仕組みの理解
- インターネット利用
 - Web情報の検索利用
 - 電子メール(書き方とマナー)
 - ソーシャルメディアの活用(後期)
 - クラウドサービスの活用(後期)
- 文書情報処理
 - テキストエディタ、Word
 - HTML(Webページの作成)
- その他
 - 表計算(Excel)
 - プレゼンテーションファイル(PowerPoint)

他の講義の課題、
演習での応用を
想定

演習時の心得

- 欠席・遅刻に厳格
(単位が出るのは5回まで。6回以上でOut)
 - 飲食・占有の禁止
 - 授業中は勝手に席を立たない
 - 原則私語禁止(静粛を保ち集中する)
 - 整理整頓(プリンタ用紙など)
-

大学のネットワーク利用

- 学生にアカウントを発行(利用許可書) ネットワーク利用ガイダンスで配布済
- アカウント:利用者IDとパスワードのセット
 - 利用者ID(ユーザ名):学籍番号 + 頭文字
 - パスワード:2週目まで初期パスワードを使用
3週目のリテラシーで変更する
- ネットワーク利用許可書は、パスワードを変更するまで毎日持参すること

J-PORT

- 大学事務関係のWeb上の掲示板
 - 教員や事務からの連絡事項
(休講情報など)
J-PORTを毎日確認すること！
 - 成績票
 - 履修登録(4月15日まで！)
 - 履修登録期間が終わるまでパスワードは
変更しない
-

本学のネットワーク利用ポリシー

- 研究・教育に用途を限る
 - 学術ネットワーク(SINET)によるインターネット接続
 - 商用利用の禁止
- 匿名・ハンドル名の禁止, 実署名の敢行
 - ソーシャルメディア(twitterなど)では、匿名、ハンドル名を認める
- 人権, プライバシの保護
- 知的所有権の尊重
- セキュリティの維持
 - 厳格なパスワード管理
- ネットワークマナーの厳守

ネットワーク利用のトラブル

- パスワード流出(最大の危機)
 - メールの盗聴・偽りのメール
 - ウイルスをうつされた
 - 全システムの破壊へ
- プライバシーが漏らされた(らしい)
- 代金を支払っても品物が届かない
- 大量の無意味なメールが届く
- 他人からの抗議 / 脅迫的メールがきた。

トラブル発生時

- 悩まずに即、情報サービスセンターに急報
 - 被害の拡大を防ぐには時間との勝負
 - 『証拠』保全に努める
 - 事態を正確に伝えるために必須
 - 自分(たち)の判断で深みに入らない
-

トラブルに巻き込まれないために

- 親兄弟・恋人にもパスワードは漏らさない
- 定期的なパスワード変更
- 被害に巻き込まれないための常識をもつ
- 知らぬ間に加害者になっている場合がある
- 毎日ネットワークを使う
- 証拠となるメールを消さない
- 証拠となるWebページ(とURL)を印刷しておく
- 起こってしまったことは取り返しがきかない。

パスワード変更

- 定期的に変更すること
- 長期間変更していないと、アカウントの使用停止の可能性も
- アカウントを停止されると
 - 演習は仮アカウントを使用(ファイルやデータは毎回消去)
 - メールを読めなくなる
 - ネットワーク講習会に参加するとアカウントが再利用可能に

講習会参加費: 2,000円

次週以降の授業

- 今日とは違う新クラス
 - 新クラスは決定しだい各実習室ドアに掲示する
- 必ず持ってくるもの
 - ノートパソコン本体
 - ACアダプタ
 - LANケーブル
(忘れる人が多い！貸与しないので注意！)